

令和5年11月29日

三重県

大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行の検討

1 目的

関西本線活性化利用促進三重県会議の枠組みの下、大都市と沿線地域を結ぶ列車を実証運行することにより、

- ・ 関西本線の認知度向上、特に他の路線と接続していることの普及啓発
- ・ インバウンドを含めた地域外からの潜在需要への取組
- ・ 沿線自治体や団体等による観光プロモーションの強化
- ・ 観光客受入体制の整備や充実

を図ることで、継続性や観光需要の潜在性を検証する。

また、地域外からの列車運行の検討を継続して行い、移動にかかる潜在需要の取り込みを図る。

2 取組概要

(1) 大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行（※詳細は今後検討をすすめていく）

- ・ 使用車両： [REDACTED]
- ・ 設定時期：令和6年度秋～冬頃
- ・ 運行頻度：2日間程度 [REDACTED]
- ・ 設定区間：名古屋 - 奈良

(2) 列車を含めた旅行商品の造成

(3) 観光客受入体制の整備・充実

3 検証方法

(例) 観光受入施設における観光客、満足度（アンケート実施）など

4 その他

国補助金の活用を想定

5 記者会見コメント（案）

- (1) 地域外からの新規需要の創出に向けて、「大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行」の令和6年度実施に向け、関係者間の検討をすすめていく。
- (2) 列車実証運行にあたっては、観光客の受入体制の整備・充実や、沿線の観光プロモーションを強化する。